

## ひめじグローバル人材育成コンソーシアム設立総会 議事録

1. 日時 令和7年3月17日（月）15:40～17:00

2. 場所 姫路商工会議所7階 701ホール

3. 出席者 23団体33名

### 4. 議事録

#### （1）開会

#### （2）姫路市長挨拶

ひめじグローバル人材育成コンソーシアム設立総会の開催にあたり、多数の方々にご参加を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。人口減少や少子高齢化が従来の想定を遥かに超えるスピードで進み、地域社会の担い手不足が一層深刻化する中であって、外国人材との共生なしには本地域はいずれ立ち行かなくなるとの強い危機感の下、本コンソーシアムを設立した。多様なルーツを持ったすべての人が、異なる文化や価値が連携する形で進めることが急務であるとの危機感を強く有している。現時点において、市内高校や大学、専門学校、経済団体や企業、国際交流支援団体等、産官学を中心に様々な分野の団体にご参加いただいている。引き続き、その裾野を広げてまいりたい。

まずは今年度、「姫路市グローバル人材育成事業」を立ち上げ、昨年10月の姫路グローバル高校生キックオフ会を皮切りに、インドネシア留学生との座談会や企業一日訪問、海外留学フェア、日本語講座など、多数の取組を実施してきた。さまざまな高校から多くの生徒の皆さまに参加いただき、高校生ならではのグローバルな思考力や行動力、コミュニケーション力を育む、実りある機会となっている。今週には「姫路グローバル高校生サミット」の開催を予定しているが、事業が本格的に動き出す来年度からは、本市にどのような国・地域から人材を呼び込み、定着させていくのかという本事業の核となる論点について、本格的に取り組んでいく。ぜひ、皆さまの専門的な知見やネットワークを活かし、参画団体が緊密に連携しつつ、将来の姫路市を担うグローバル人材の育成にご協力いただきたい。

#### （3）事業概要説明

#### （4）議事 ひめじグローバル人材育成コンソーシアム規約（案）について

■規約案について全会一致異議なし

#### （5）役員の選出

##### （i）コンソーシアム会長、副会長の選出

■規約に則り、会長は清元秀泰姫路市長、副会長は齋木俊治郎幹事に決定

(会長) 姫路で人材育成のスキームを作り、外国の方を貴重な未来へのパートナーとして育てていきたいと考えている。関係者の皆様には専門的な知見をいただきながら、一緒に盛り上げていただきたい。

(副会長) この地域の大きな課題は人口減少である。これは日本の国力を削ぐことにもなりかねない。単純に労働力としてではなく、文化を通じて理解を深めた外国人材がこの地域で定住していただく、また、一旦海外へ出て、海外の需要を分かった上でこの地域の中で活躍いただく、そこにこの地域の未来がかかっている。ワーキングでは実のある議論がなされているので、また皆様に報告し、方向付けをしていきたい。

## (ii) 特別顧問の選出

■コンソーシアム特別顧問を石見利勝氏とする事務局案に決定

(特別顧問) みなさんのご協力を得ながら、しっかり頑張りたい。

(会長) アジア圏の地域開発でさまざまな学生を指導された実績がある。これまでのご経験を踏まえて、特別顧問になっていただいていると考えている。

## (6) 報告

(i) 令和6年度グローバル人材育成事業の実施報告について

(ii) 令和7年度グローバル人材育成事業の事業計画について

(iii) ワーキンググループ第1回会議開催状況について

(iv) 令和7年度総会・幹事会開催計画について

(会長) 今後、人材を育成していくこと、日本人のグローバル化を進めること、そして諸外国から日本に興味を持つ人々を受け入れていくことが、10年後、20年後の社会を実りあるものにするために重要である。私が外国へ行った際、または外国で長期にわたる仕事をしていたときに感じたことは、日本という国がいかに素晴らしいか、特に姫路という地域がいかに優れているかということである。

特に強調したいのは、日本の衛生環境の良さである。日本は衛生的で清潔であり、上下水道が完備され、安心して安全な水を飲むことができる。この点は、留学してくる人々にとって非常に大きな価値となる。日本にいと「安心と安全」の重要性を自覚しにくい、外国から来る人々にはぜひこの点を強調してアピールしてほしい。例えば、日本の殺人や犯罪件数の少なさ、日本人の常識や勤勉性、教育の質の高さなどは、外国の人々にもっと知ってもらふべきである。交流イベントやワーキングを通じて、我々の町がいかに素晴らしいかを共有し、多くの人々に姫路を目指してもらいたいと願っている。これにより、姫路が魅力的な場所として広く認識されることを期待している。

ワーキングが進むにつれ、議論が活発になり、その議論を踏まえて必要な修正を加えながら進めていくことが重要である。国もこの事業に大変注目しており、姫路市と皆さんが一体となってこの事業を推進していくために、ぜひご協力をお願いしたい。

(事務局) JETRO の支援事業について、机上に参考資料を配布いただいている。非常に関連する取組なのでご紹介いただきたい。

(JETRO 神戸) 伴走型支援サービス「高度外国人材活用推進コーディネーター」のご紹介。

(JETRO 神戸) 4 月から JETRO 神戸で兵庫県の企業を担当させていただく。JETRO と言えば輸出入を思い浮かべる方が多いが、人材事業も今年で 6 年目を迎えている。主に中堅・中小企業を支援しており、去年は全国で 300 社、関西地区で 80 社、うち兵庫県は 15 社、姫路市では 2 社だった。我々の特徴は、企業とほぼ 1 年間伴走しながら問題解決を支援することである。姫路の企業にも多く参加いただき留学生とのマッチングを支援していきたい。

(7) 基調講演 「4 つの” ai” を姫路で紡ぐ ～郷土愛、国際、出会い、高め合い～」  
JICA 関西 木村 出 所長

(8) 閉会